

2018年11月1日

各位

会社名 株式会社キトー
 代表者名 代表取締役社長 鬼頭 芳雄
 コード番号 6409 (東証 第一部)
 問合せ先 常務取締役 遅澤 茂樹
 財務管理本部長
 (TEL : 03-5908-0161)

業績予想の修正に関するお知らせ

本年5月15日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間、及び通期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,500	2,000	1,600	1,200	58.86
今回発表予想 (B)	28,190	2,560	2,310	1,830	89.69
増減額 (B-A)	1,690	560	710	630	
増減率 (%)	6.4	28.0	44.4	52.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	24,661	1,269	879	532	26.21

(2) 通期 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,000	5,500	5,100	3,500	171.66
今回発表予想 (B)	60,000	6,000	5,700	4,000	195.95
増減額 (B-A)	2,000	500	600	500	
増減率 (%)	3.4	9.1	11.8	14.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	55,168	4,698	3,791	2,836	139.52

2. 修正の理由

2019年3月期第2四半期累計期間は、全般的な好調を維持する日本、米国市場が業績をけん引し、中国市場においてもEV等を中心とした成長産業が活況で業績に大きく貢献いたしました。その結果、売上高は、当初の予想を超過する見通しとなり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についてもそれぞれ増益となる見込です。

通期の業績については、米中貿易摩擦による先行きの不透明感が残るものの、第3四半期以降も日本、米国を中心に需要は底堅く推移するものと見込むことから、通期連結業績予想を第2四半期累計期間と同様に、修正いたします。

なお、売上高、各段階利益共、過去最高となる見込です。

第3四半期以降の為替レートについては、足下の状況を勘案し前回想定した1米ドル105円から、110円に見直すことといたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上